

令和4年12月5日

羽生市議会議長 様

公成会代表 峯寄 貴生

令和会代表 増田 敏雄

## 行政視察報告書

下記のとおり、公成会・令和会合同視察を実施したので報告する。

### 記

#### 1:背景

市内の課題を解決するため、羽生市と他の自治体の政策を比較・検討し、羽生市の抱える課題に新たな視点から取り組む必要がある。

#### 2:目的

先進的な政策を実行している自治体から学びを得て、市民福祉の増進に寄与する。

#### 3:視察参加者

公成会: 峯寄 貴生、松本 敏夫

令和会: 増田 敏雄、江原 博之、西山 文由

#### 4:視察概要

1)日時: 2022年11月8日(火)～9日(水)

2)場所: 新潟県村上市、新潟県長岡市

#### 3)視察内容

##### ■新潟県村上市

##### 「田んぼダムによる防災・減災の取組について」

- ・取り組みの経緯及び背景について
- ・概要、特色について
- ・具体的な取り組みの内容及び状況について
- ・事業に対する補助メニュー・補助額等について
- ・取り組みの効果について
- ・今後の課題・展望等について

■新潟県長岡市

「中心市街地再開発・活性化について」

- ・取り組みの経緯及び背景について
- ・概要、特色について
- ・具体的な取り組みの内容及び状況について
- ・取り組みの効果について
- ・今後の課題・展望等について

公成会・令和会 行政視察 報告書

令和会 会長 増田敏雄

1. 視察日 令和4年11月8日(火)～9日(水)
2. 視察地 新潟県村上市 / 新潟県長岡市
3. 視察調査事項  
村上市  
田んぼダムによる防災・減災の取り組みについて  
長岡市  
中心市街地再開発・活性化について
4. 工程表は、別紙にて

# 羽生市議会 公成会・令和会

## 行政視察日程

1 視察日 令和4年11月8日(火)～9日(水)

2 視察地 新潟県村上市／新潟県長岡市

3 視察日程

月日	行程
11月 8日 (火)	<p>秩父鉄道 JR上越新幹線 JR白新線 徒歩 村上市議会様 とき307号 特急いなほ3号 送迎</p> <p>羽生駅 === 熊谷駅 === 新潟駅 === 村上駅 …… 昼食 ===== 8:13 8:37 9:02 10:27 10:56 11:42</p> <p>[視察] 村上市議会様 JR白新線 JR上越新幹線 徒歩 送迎 特急いなほ10号 とき336号</p> <p><b>村上市役所</b> ===== 村上駅 === 新潟駅 === 長岡駅 …… ホテル(泊) 13:30-15:00 15:50 16:37 16:57 17:16</p>
	<p>(視察先) 村上市「田んぼダムによる防災・減災の取組について」</p> <p>(宿泊先) ホテル法華クラブ新潟長岡 住所：長岡市城内町1-3-2 TEL:0258-30-3151</p>
11月 9日 (水)	<p>徒歩 [視察] 徒歩 徒歩 JR上越新幹線 とき330号</p> <p>ホテル …… <b>長岡市役所</b> …… 昼食等 …… 長岡駅 === 9:30-11:30 15:56</p>
	<p>秩父鉄道</p> <p>熊谷駅 === 羽生駅 17:02 17:14 17:37</p> <p>(視察先) 長岡市「中心市街地再開発・活性化について」</p>

令和4年11月8日(火)

村上市 行政視察 市役所 13:30～14:30

現場視察 14:30～15:00

田んぼダムによる防災・減災の取り組みについて

説明者

神林支所 産業建設課 課長 齋藤 雄一様

荒川沿岸土地改良区 事業課 係長 小田 和彦様

地域力を活かした洪水対策として、「田んぼダム」による  
防災・洪水抑制

田んぼダムによる防災

「田んぼダム」とは、村上市(旧神林村)で行われている  
水田を用いた洪水抑制の試みです。広大な水田に雨を広く  
浅く貯めることによって、地域の洪水被害を軽減するという、  
地域住民による地域住民のための土地組です。新潟県旧神林  
村発のこの取り組みは、全国的な注目を集めています。

## 1. 現在の岩船地域

かつてのびわ潟の中心部に七湊川、助淵川、笛吹

川が石川に合流し、4本の川が1点に集まり流下します。その先で百川も合流した後に日本海へ流れ出します。

## 2. 洪水の歴史

昭和42年8月28日 羽越水害発生！！

総雨量359mm 約6日間にわたって洪水が起きました。死者17名 重軽傷者100名 住宅全壊流出108棟 半壊損壊442棟 床上浸水944棟 床下浸水40棟

### 洪水の原因

- ① 標高マイナス0から2m程度の元来、地盤が低い地域であること
- ② 河川改修が遅延し水位が高いということ  
河川水位は日本海潮位の影響を受けて標高0.8m～2.5m程度で地盤標高より全体的に高い状況にあります。
- ③ 雨の日本海へのはけ口が石川しかないという

こと

- ④ 住宅、道路、各種施設等の開発により降雨の流出量が増加したということ
- ⑤ 圃場の排水路整備により短期間に降雨が流下するようになったこと

#### 先人の洪水時の水管理

洪水に対し、地域の先人は次のような水管理を行っていました。

雨が降って洪水が発生すると、自然の状態では水が高台から退いていきます。

しかし、先人は田んぼの水を落水せずに貯留させました。これは、高台の田んぼが落水すると低い田んぼの水が退かないためです。

低い田んぼでも水が退きはじめると、下流から落水するという暗黙なルール化がなされていたのです。これにより効果的な田貯留による洪水調整がなされていたわけです。

この下流から落水するというルール化は、農民の助け合いの互助の精神があつて初めてなされるものと言えます。

### 3. 田んぼダムの検討

#### 洪水対策

- 河川水位を下げる → 河川改修：河積を払げる  
接続河川へ機械排水
- 流入を抑える → ダム・調整池の設置  
田貯留
- 管理強化する → 洪水予測管理システム  
監視・水防体制の充実
- 堤内地から機械排水 → 日本海へ直接機械排水  
河川へ機械排水

### 4. 田んぼダム 降雨貯留システム

シミュレーションの結果を受けて、実際のフィールドで田んぼダム洪水調整フォーラムとして笛吹川流域の約350haの田んぼで評価検証する。

具体的には、田区排水柵700型に中央に50mm



の孔を開けた調整版を設置するだけです。本来であれば降雨時に完全に閉め切ればこれ以上の効果は期待できませんが、現実的な管理を考慮すると設置したままのこの形態が最適という結論になりました。

その後の大雨時では、田んぼに水が溜まり、ピーク時の流出量が大幅に減少して、すべての河川での水位上昇が小さくなって、洪水を抑制することができた。

田んぼダムをダムに置き換えると次の様になります。

- 田んぼダム仮想貯水量・・・計画～最大

$$350 \text{ ha} \times 12 \text{ cm} = 420,000 \text{ m}^3$$

から

$$350 \text{ ha} \times 30 \text{ cm} = 1,050,000 \text{ m}^3$$

- 貯水量近似ダム

羽茂ダム S29～44 中央コアフィルダム

$$H=26 \text{ m} \quad L=91 \text{ m} \quad V=61,000 \text{ m}^3$$

$$\text{貯水量} = 460,000 \text{ m}^3$$

新穂第二ダム S58~H3 重力式

コンクリートダム

H=61m L=176m V=140,000m<sup>3</sup>

貯水量=1,050,00000m<sup>3</sup>

## 感想

この「田んぼダム」のとりくみは、農家の皆さんの協力なしには成り立たないことがわかりました。田んぼに水をためることになるため、畦の管理や排水マスにゴミが詰まっていないかなどの確認が重要です。今後の持続的な取り組みや他の地区への普及のためには、地域住民の皆様方や行政のサポートなど、地域全体で取り組んでいく必要があると感じました。

田んぼダムは、多額の費用がかかるわけではありませんので、羽生市においても大変参考になると思いました。

令和4年11月9日(水)

長岡市 行政視察 市役所 9:30~11:15

アオーレ長岡西棟 第二委員会室

現地視察アオーレ長岡 11:15~11:45

中心市街地再開発・活性化について

説明者

中心市街地整備室まちなか政策担当課長 西野 靖雄様

長岡市都心地区

長岡駅を中心に信濃川を挟んで両側に広がっている。

市街地の成り立ち

江戸時代の長岡城を中心に現在の中心市街地がある。

長岡市のまちなかの変遷

車社会の進展と郊外化 → まちなかの空洞化の顕  
在化 → 大規模商業施設の閉店 → 活性化に向け  
た政策的取り組みへ

まちなかの空洞化

商業施設の連鎖的な閉店 8店舗閉店

長崎屋閉店 イチムラ閉店 丸大閉店 ダイエー閉店

丸専閉店 原信閉店 イトーヨーカドー閉店

地価の下落

大手通り 平成5年 262万円 (万/m<sup>2</sup>)

令和4年 23万円 (万/m<sup>2</sup>)

なんと 10分の1以下に下落。

老朽化する市街地

行政機能のまちなか回帰

活性化に向けたこれまでの取り組み

「ながおか市民センター」オープン

『長岡市中心市街地の構造改革に関する提言』

『長岡市中心市街地地区都市再生整備計画』

『長岡市中心市街地活性化基本計画』

現在

厚生会館地区（アオーレ長岡）の整備

大手通り中央地区・表町西地区市街地再開発事業

市役所機能の「まちなか回帰」

都市機能の更新と再集積

→ → →

多くの人々が、「まちなか」を訪れることで、市民の意識が変わってきており、疲弊していた中心市街地がまさに息を吹き返しつつある

長岡市の実証実験

「市民との協働によるまちづくり」を目指して

市役所を中心市街地に

公共交通の利便性、コスト面、まちづくりの観点から

→ → →

中心市街地に移転することが最適との結論に

## 全国初のまちなか型市役所の実現

~~ 市役所機能をあえて分散配置 ~~

- ついで効果による回遊性やまちなかの賑わい演出
- まちに溶け込んだ「市民と協働する開かれた市役所」スタイル確立
- 交通の拡散によるスムーズな流れ

「アオーレ長岡」のオープン平成24年4月1日

「アオーレ長岡」は、JR長岡駅前に位置し、ナカドマ（屋根付き広場）を中心に、アリーナ、市民交流ホール、などの公会堂機能と市役所、議会が一体となった多くの人が集まる”市民協働・交流拠点”となっております。

アオーレ・・・長岡の方言で「会いましょう」を意味します。

設計は、隈研吾建築都市設計事務所

（新国立競技場の設計者）

「アオーレ長岡」のコンセプトと特徴

施設の中心は”ナカドマ “～外で内でもない中間的な領域の空間

「アオーレ長岡」は市民協働の拠点

～ 市民目線での管理運営 ～

「アオーレ長岡」でのイベント展開

～成人式～保育園の遠足～ファッションショー～

牛の角突き～フィギアスケート～ドイツフェスト

～プロバスケットボール～ロックミュージック

「アオーレ長岡」の市役所らしい場所

**【東棟1回の市役所総合窓口】**

◎ 目的型の窓口（身近な手続きを集約）

◎ ワンストップサービスの提供

◎ 市役所コンシェルジュによるサポート

◎ 平日：午前8時30分～午後5時15分

土日祝：午前9時～午後5時

## 中心市街地の活性化に向けた取り組み多数

- なかまちキャンパス長岡
- 震災アーカイブセンター
- 子育て駅 ちびっこ広場
- 社会福祉センター
- 米百俵プレイス
- ミライエ長岡
- NaDeC 構想 4大学1高専の多様な人材
- タニカフェ オープン
- 中心市街地の駐車場 整備
- 長岡駅前 整備
- マンション 誘致
- 街の再生
- 路面店に飲食店が続々と出店
- 歩道にまちカフェ
- 歩行者通行量画像解析カメラ整備
- 若者居場所づくり
- 店近い駐車場整備



- 新しいまちづくりのモデル都市
- 新たな賑わいの創出
- イノベーション地区へ
- サテライトオフィス誘致

長岡花火は

平和への

メッセージ

感想

中心市街地の空洞化から再開発の成功には、市民市役所の協働の精神があったから成し遂げられたものとする。すごいエネルギーの大きさを感じた。

アオーレ長岡の近代建築には、驚いた。まるで、ニューヨークのタイムズスクエアに来たように感じた。

羽生市議会歓迎の大型電光掲示板にもビックリし、感動もしました。

市役所の職員、全員生き生きと働いていました。  
男性は、全員ネクタイをつけ背広を着ていました。  
女性は、全員明るくにこやかで笑顔が素敵でした。  
まるで、一流大企業の民間社員の様に見えました。

長岡市を愛しているし、まちづくりの自信も感じ  
ました。

これは、羽生市にも活かすことのできる見本になる  
と確信致しました。

ありがとうございました。

ありがとうございました。

以上

# 羽生市議会「令和会・公成会」合同行政視察報告

令和会 江原 博之

## I 研修先

### (1) 新潟県村上市

#### ① 研修内容「田んぼダムによる防災・減災の取組について」

田んぼダムは、平成14年度に新潟県村上市で全国に先駆けて取組が始まり、当時471haで始まった面積は、今では新潟県全域で約30倍の14,832haまで拡張された。その後、この取り組みは全国に広がっている。

#### 【地域の特性】

村上市の神林地区は、過去大きな水害により甚大な被害を受けた地区である。このことにより、この地区の人たちは今でも大雨に対する警戒心は人一倍強いものがあるという。

#### 【田んぼダム】

神林地区は、昭和56年から県営ほ場整備事業が始まり、大区画化、用水のパイプライン化、排水路の整備により、ほ場管理の利便性が向上した。しかし皮肉なことに排水路が直線的になったことによって、降雨が下流域にこれまでより早く到達することになり、下流域の集落では洪水に対する危機感も高まったという。

このため、田に水を一時的に貯水しダムのような働きを行い、水の出る時間を遅らせて洪水被害防止しようとする「田んぼダム」を考えたという。



#### 【構造】

構造は非常にシンプルで、水田の排水路に30cm四方の穴の開いた板（コンパネ）を置き、溜まった水が一気に排水されないようするものである。（写真）

#### 【研修を終えて】

まず驚いたことは、構造が非常にシンプルで、一枚500円程度である点である。効果が期待できても大きな金額が必要であれば導入は難しい。しかし、少ない予算

で簡単にできるものであれば、費用対効果は大きなものになると考える。本市でも毎年のように水害が心配されるが、その導入の価値は高いと考える。

## (2) 新潟県長岡市

### ① 研修内容「中心市街地再開発・活性化について」

長岡市は、古くは城下町として栄え、上越新幹線開通以来、駅を中心に多くの大型店が相次いで出店し大きく栄えたという。しかし、現在、これらの大型店はすべて撤退し、中心市街の空洞化、老朽化が問題となってきた。

#### 【行政機能のまちなか回帰】

中心市街地の活性化を図るために、長岡市では、市の行政機関を街中に集約することで、市民を街中に集めることにした。市の様々な機関を街中に集中させることは難しいことであるが、長岡市では撤退した大型店を活用している。

#### 【アオーレ長岡】

写真は、長岡市役所の入り口付近である。この施設は、アオーレ長岡といって、屋根付き広場を中心に、アリーナ(5,000人収容)市民ホールなど公会堂機能と市役所、議会が一体となった多くの人たちが集まる市民協働・交流の起点となる施設である。



この屋根付きの大きな広場は、市民はもちろん誰でも24時間入れるようになっている。また様々なイベントが出来るとのことであつた。アオーレ長岡は、長岡駅から5分程度と近く、しかもサークル活動も出来るよう設計されている。つまり、市役所に用事のある市民、サークル活動をする市民、展示会を見ようとする市民等々、多くの市民を街中に呼び込もうとしている。

#### 【研修を終えて】

長岡市での事業を他市で同様のことを行うには莫大な予算が必要となり困難なことであるが、中心市街地の空洞化は全国的な問題であるので、撤退した商店をうまく活用できている点は参考になるのではないかと考える。

視察研修所感

村上市「田んぼダム」視察

魚・酒・人情の町 村上市は新潟県の最北端に位置し、海、山、川の自然豊か、歴史・伝統・食文化の魅力あふれる町である。田んぼダムとは、どんな構造なのか想像がつかひかた。村上市は海抜0メートル地帯が広がり、昔から大雨による洪水に悩まされた。そこで平成14年度に笛吹川流域の14集落でスタートしたのが「田んぼダム」の取り組みであった。田に水を一時的に貯水し、ダムのような働きを行い水の出る時間を遅らせ、洪水被害を防止させる取り組みで、コンクリート製排水柵を15cmから5cmにするため木製のコンパネに穴を開けた調整板を置くだけの単純な構造である。

広大な田んぼの中に幅1.5m、深さ2m位の用水路に水が流れ落ちる仕組みになっている。この田んぼダムは、コンパネ一枚400円程度と安価で大きな効果が見られている。災害が多い地域では安全な対策を考へる必要があるが、羽生市は自然災害が少なく恵まれた地域だと思ふ。

視察研修所感

長岡市役所を視察して

長岡駅を出て歩道を歩いて行くと約2,000㎡の屋根付き広場がある。アオーレ長岡(長岡市役所)の玄関前である。そこには椅子、テーブルが設置されていて、誰もが気軽に立ち寄り、憩い集うことが出来る24時間開放のスペースで、移動販売車や屋台ほかの出店、物産展、展示会、結婚式など自由な発想で使用が可能な全く新しいコンセプトを形にした公共建築である。

市民と議会の一体感を目指し、一階に議場を設置し、一部ガラス張りになっている議会の様子を見学することも出来る。

町の商店街は、大型店舗の進出で個人店舗は経営が難しく、シャッターが数多く閉まっている。

人口26万人、一般会計当初予算1,320億円

大都市と田舎の違いは歴然としているが共通する問題も数多くあるようだ。最後に長岡の花火大会の様子もスクリーンで見せて頂いたが一度現場で見て見たいと思った。